

流域治水プロジェクト取組状況

令和5年 2月22日

国土交通省 中部地方整備局

豊橋河川事務所

豊川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～日本の東西をつなぐ「交通の要衝」を水害から守る流域治水対策～

令和4年3月末公表

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、豊川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 豊川流域は産業経済の根幹をなす交通の要衝であり、無堤区間のある霞堤地区を有するなど水害リスクが高い流域であることから、霞堤対策や浸水リスクが高い地域の「安全なまちづくり」に向けた立地適正化計画の推進、霞堤地区浸水被害軽減対策計画等のソフト対策の整備を実施する。
- これらの取組により、国管理区間においては、戦後最大の昭和44年8月洪水と同規模の洪水に対し、破堤等による甚大な被害を防止するとともに流域における浸水被害の軽減を図る。



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防整備、樹木伐採、緊急浚渫推進事業
- ・霞堤対策(小堤、支川背水対策)4箇所
- ・設楽ダム建設
- ・放水路の機能保全・最大活用検討
- ・流出抑制対策

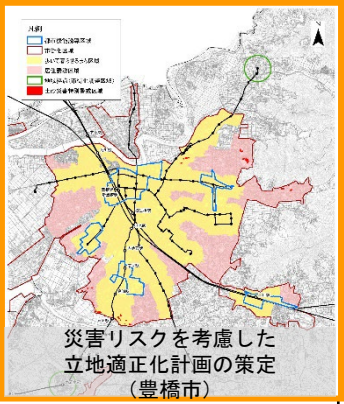
(利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築、下水道(雨水)整備、砂防関係施設整備、流域貯留池事業、治山施設の整備、森林の間伐、森林整備・保全等)



● 被害対象を減少させるための対策

- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」にむけた取組

(立地適正化計画、土地利用規制・誘導(災害危険区域等))



● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・被害軽減対策 (排水作業準備計画の検証、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成促進、避難場所や経路に関する情報周知、土砂災害警戒区域等の指定・周知)
- ・住民の主体的な避難行動を促す取り組み (「みずから守るプログラム」の普及促進、防災講座・防災訓練、ハザードマップの作成・周知、住民の水害リスクに対する理解促進の取組、洪水プッシュ型情報配信、水害リスクライン配信、土砂災害リスク情報の現地表示、浸水予想図作成等)
- ・ソフト対策のための整備 (霞堤地区浸水被害軽減対策計画、水害リスクの高い区間の監視体制の整備、水害リスク空白域の解消等)



愛知県

- ・河道掘削 (緊急河川浚渫推進事業を含む)、樹木伐採
- ・砂防関係施設整備
- ・治山施設の整備、森林保全
- ・みずから守るプログラム

新城市

- ・緊急浚渫推進事業等
- ・避難所の見直し検討等

豊川市

- ・緊急浚渫推進事業等
- ・立地適正化計画に基づく居住誘導等

豊川下流圏域

河川整備計画作成中

設楽町

- ・緊急浚渫推進事業等

豊川上流圏域

河川整備計画作成中

豊橋市

- ・緊急浚渫推進事業等
- ・立地適正化計画における「防災指針」の策定
- ・洪水ハザードマップの作成・啓発

豊川市

- ・河道掘削
- ・下水道整備

豊橋市

- ・霞堤対策 (賀茂・金沢)
- ・小堤
- ・森林整備・保全

豊川市

- ・下水道整備
- ・霞堤対策 (牛川・下条)
- ・小堤
- ・支川背水対策

豊橋市

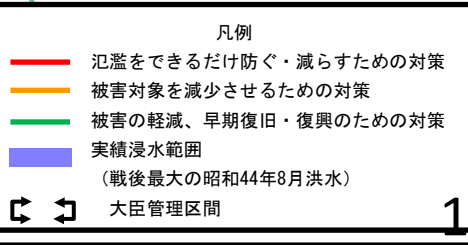
- ・下水道整備
- ・森林整備・保全

豊川市

- ・放水路の機能保全・最大活用検討
- ・緊急浚渫推進事業 (朝倉川)

豊橋市

- ・緊急浚渫推進事業 (朝倉川)



※大臣管理区間以外は、県・市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

豊川水系流域治水プロジェクト 【位置図】

令和4年3月末公表

～日本の東西をつなぐ「交通の要衝」を水害から守る流域治水対策～

●グリーンインフラの取り組み 『下流域の多様な生物の生息環境の再生と環境学習による地域振興』

- 湿地や干潟が少なくなった日本では、豊川河口の干潟やヨシ原は渡り鳥にとって貴重な場所・中継地となっている。また豊川の河口干潟は全国有数のアサリ稚貝の生息場所であり、豊川本川の特徴のひとつとなっている河畔林は、鳥の巣や、魚のかくれ場になるなど、生物の集まる豊かな自然環境となっている。
- 豊川河口域の減少した干潟を再生することにより、多様な生態系の回復を図るため、令和10年度までにアサリやハマグリ等の底生生物が生息できる河川環境の再生や、環境学習・自然体験の場の創出など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。
- 豊川が本来有していたヨシ原を再生することにより、多様な生態系の回復を図るため、令和10年度までにオオヨシキリ等の鳥類が生息できる河川環境や自然河岸のある景観の再生など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

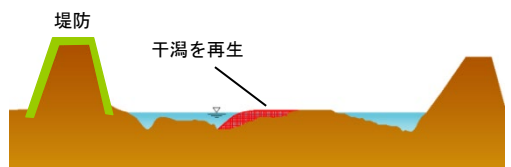


河口干潟を利用した生物観察会

- 自然環境の保全・復元などの自然再生
干潟再生、ヨシ原再生
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
環境学習、自然観察

干潟再生

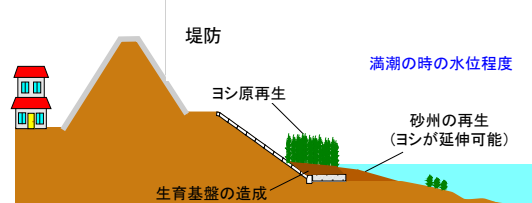
・砂を投入して干潟を造成し、渡り鳥やアサリ等貝類など多様な生物が生息しやすい環境となります。



(干潟創出後の豊川河口域)

ヨシ原

・水際のヨシ原を再生し、オオヨシキリなど多様な生物が生息しやすい環境になります。



(ヨシ原創出後の豊川放水路)



凡例

- 治水メニュー
- グリーンインフラメニュー
- 大臣管理区間

豊川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～日本の東西をつなぐ「交通の要衝」を水害から守る流域治水対策～

令和4年3月末公表

- 豊川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

- ・ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、設楽ダム建設や霞堤対策(小堤、支川背水対策)、緊急浚渫推進事業等により、豊川下流域の浸水深・浸水面積の減少を図る。
- ・ 被害対象を減少させるための対策として、災害リスクの高い地域を抽出・分析し、立地適正化計画に基づいた防災指針を策定する。
- ・ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として、要配慮者施設避難確保計画の作成促進、「みずから守るプログラム」の普及促進等のソフト対策を推進する。
- ・ 霞堤地区浸水被害軽減対策協議会と協同し、水害リスクの高い区間の監視体制の整備等を実施する。霞堤地区の浸水被害軽減を図る。

【中長期】

- ・ 短期に引き続き、直轄管理区間・指定管理区間において河道掘削・堤防整備、樹木伐採等を実施し、中下流域の浸水被害解消を図る。
- ・ 防災指針等を踏まえ、構成員が一体となり災害リスクの低い地域への居住誘導を推進する。
- ・ さらに、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策についても引き続き実施し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】 ※スケジュールは、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。 ※各対策による実施主体は、代表的な市町名を記載しています。

| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 工程 | |
|---------------------|---|------------------------|-------|-------|
| | | | 短期 | 中長期 |
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 河道掘削・堤防整備 | 豊橋河川事務所 | | ■■■■■ |
| | 霞堤対策(小堤、支川背水対策) | 豊橋河川事務所・愛知県豊橋市・豊川市 等 | | ■■■■■ |
| | 設楽ダム建設 | 設楽ダム工事事務所 | ■■■■■ | ■■■■■ |
| | 放水路の機能保全・最大活用検討 | 豊橋河川事務所 | | ■■■■■ |
| | 河道掘削、樹木伐採 | 愛知県 | | ■■■■■ |
| | 緊急浚渫推進事業(朝倉川・白鳥川・宝川・沖野川 等) | 豊橋市・豊川市・新城市 等 | ■■■■■ | ■■■■■ |
| | 下水道(雨水)整備 | 豊橋市・豊川市 等 | | ■■■■■ |
| | 利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 | 水資源機構 等 | | ■■■■■ |
| | 砂防関係施設整備 | 愛知県 | | ■■■■■ |
| | 治山施設の整備、森林保全 | 愛知県、中部森林管理局、森林整備センター 等 | | ■■■■■ |
| 被害対象を減少させるための対策 | 防災・減災のための住まい方や土地利用:立地適正化計画 | 豊橋市・豊川市 等 | ■■■■■ | ■■■■■ |
| | 土地利用規制・誘導(災害危険区域等) | 豊橋市・豊川市 等 | ■■■■■ | ■■■■■ |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 洪水プッシュ型情報配信、水害リスクライン配信 | 豊橋河川事務所 | ■■■■■ | ■■■■■ |
| | 浸水予想図作成 | 豊橋河川事務所 | ■■■■■ | ■■■■■ |
| | 「みずから守るプログラム」の普及促進 | 愛知県 | ■■■■■ | ■■■■■ |
| | 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成促進、避難場所や経路に関する情報周知・土砂災害リスク情報の現地表示 | 愛知県・豊橋市・豊川市 等 | ■■■■■ | ■■■■■ |
| | ハザードマップの作成・啓発 | 豊橋市・豊川市・新城市 等 | ■■■■■ | ■■■■■ |
| グリーンインフラの活用 | 霞堤地区浸水被害軽減対策計画、水害リスクの高い区間の監視体制の整備 | 愛知県・豊橋市・豊川市 等 | ■■■■■ | ■■■■■ |
| | 河口部における干潟・ヨシ原再生(自然再生) | 豊橋河川事務所 | ■■■■■ | ■■■■■ |
| | 環境学習、自然観察 | 豊橋河川事務所 | ■■■■■ | ■■■■■ |

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

【事業費 (R2年度以降の残事業費)】

- 河川対策
 - 全体事業費 約1,705億円 ※1
 - 対策内容 河道掘削 設楽ダム建設 小堤整備 等
 - 下水道対策
 - 全体事業費 約151億円 ※2
 - 対策内容 下水道等の排水施設整備
- ※1:直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
 ※2:各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

豊川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

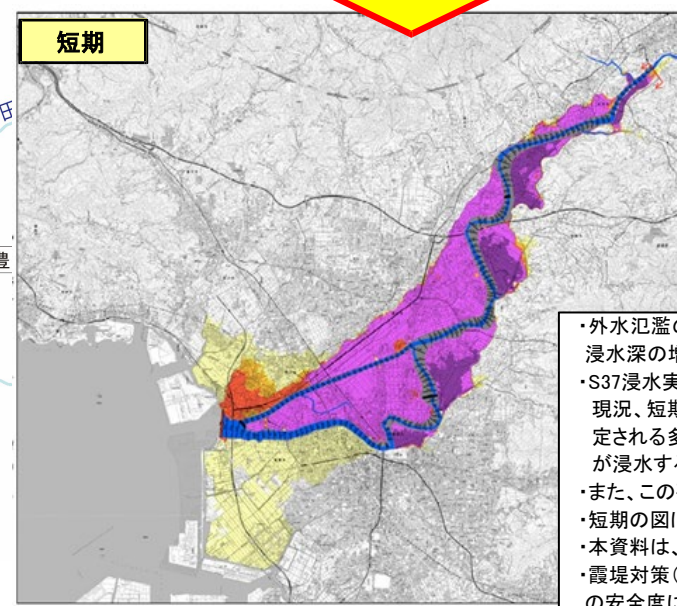
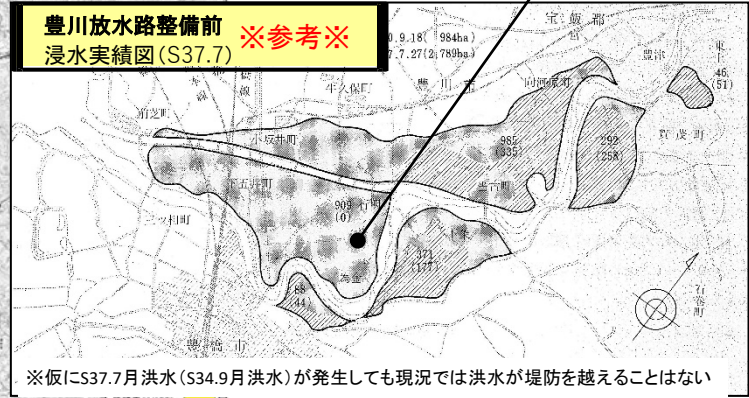
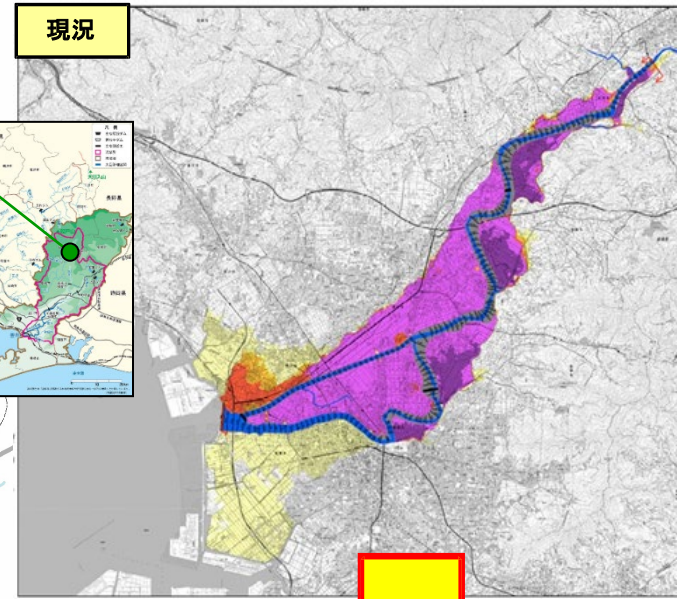
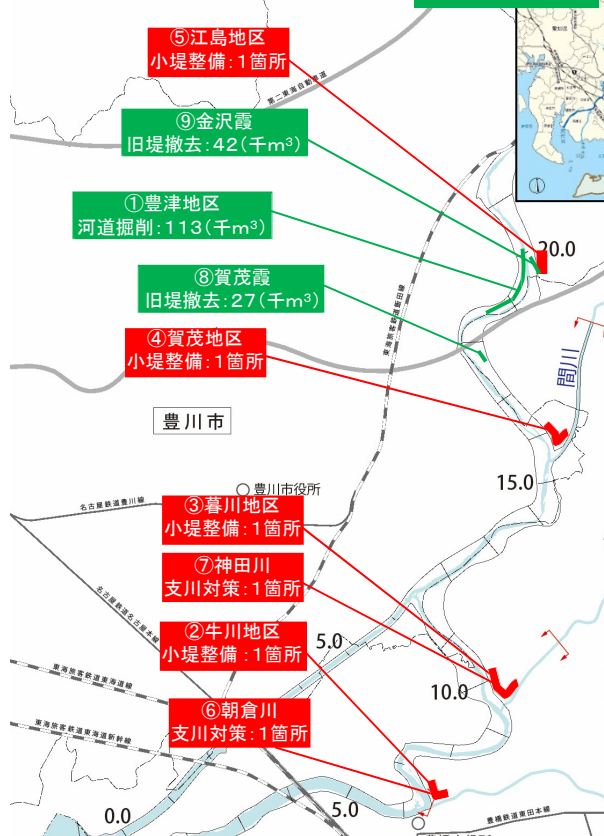
令和4年3月末公表

～日本の東西をつなぐ「交通の要衝」を水害から守る流域治水対策～

短期整備（5力年加速化対策）効果 : 河川整備率 約63%→約63%

設楽ダムの完成に合わせ、地域の浸水被害の軽減を図ることが可能

実施箇所・対策内容



| 区分 | 対策内容 | 区間 | 工程 | |
|-----------------------------|----------------------------|-------|---------------------------|-------------------------------|
| | | | 短期(R3～R7年度) 1/2→1/2(年) | 中長期(R8～R12年度) 1/20→1/50(年) |
| 氾濫をできる だけ防ぐ・減ら すための対策 | 河道掘削 0 → 0% | ①豊津地区 | 100% | 100% |
| | 露堤対策 (小堤整備) 0 → 100% | ②牛川地区 | 種別整備:100% 築堤・護岸:100% | 種別整備:100% 築堤・護岸:100% |
| | | ③暮川地区 | 種別整備:100% 築堤・護岸:100% | 種別整備:100% 築堤・護岸:100% |
| | | ④賀茂地区 | 種別整備:100% 築堤・護岸:100% | 種別整備:100% 築堤・護岸:100% |
| | | ⑤江島地区 | 種別整備:100% 築堤・護岸:100% | 種別整備:100% 築堤・護岸:100% |
| 露堤対策 (支川対策) 0 → 100% | ⑥朝倉川 | 100% | 100% | |
| | ⑦神田川 | 100% | 100% | |
| 露堤対策 (旧堤撤去) 0 → 0% | ⑧賀茂霞 | | 100% | |
| | ⑨金沢霞 | | 100% | |
| 関連事業 | | | 設楽ダム完了 | |

凡例

短期 中長期 (整備予定箇所)

■ ■ : 小堤整備・支川対策





■ ■ : 河道掘削・旧堤撤去

- ・外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には、浸水範囲の拡大や、浸水深の増大が生じる場合があります。
- ・S37浸水実績図については、1回の洪水氾濫で浸水した区域を示したものです。現況、短期については、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、一度の洪水で図の着色範囲全てが浸水するというシミュレーションではありません。
- ・また、この確率以下の洪水においても、侵食等により破壊する可能性があります。(※1)
- ・短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。
- ・本資料は、調整中のものであり、今後事業進捗等により変更が生じる可能性があります。
- ・露堤対策(小堤整備)の効果は、設楽ダムの完成とともに考慮すべきものであることから、短期の安全度においては見込んでいません。

豊川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

令和4年3月末公表

～日本の東西をつなぐ「交通の要衝」を水害から守る流域治水対策～

| | | | | | | |
|--|---|--|---|---|--|--|
| <p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備</p>  <p>整備率 63% (概ね5か年後)</p> | <p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>2市町村 (令和3年度末時点)</p> | <p>流出抑制対策の実施</p>  <p>0施設 (令和2年度実施分)</p> | <p>山地の保水機能向上 および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 9箇所 (令和3年度実施分) 砂防関係施設の整備数 1施設 (令和3年度完成分)</p> | <p>立地適正化計画における 防災指針の作成</p>  <p>0市町村 (令和3年12月末時点)</p> | <p>避難のための ハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 2河川 (令和3年12月末時点) 内水浸水想定区域 0団体 (令和3年11月末時点)</p> | <p>高齢者等避難の実 効性の確保</p>  <p>避難確保 洪水 296施設 計画 土砂 42施設 (令和3年9月末時点) 個別避難計画 2市町村 (令和4年1月1日時点)</p> |
|--|---|--|---|---|--|--|

氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策



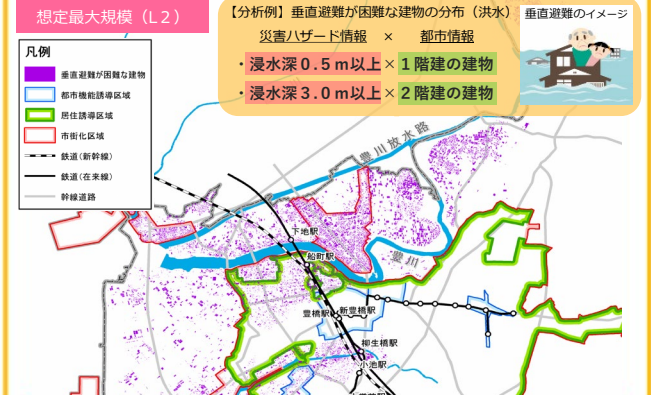
○流域貯留浸透事業(豊川市)

- ・ 下水道事業の一環として新規の調整池(麻生田調整池)を整備し、流出抑制を図る。
- ・ 既設の調整池(当古調整池)を改良し、貯留・浸透能力の強化。

【令和3年度実績】

堤体造成工、舗装工などを実施。(麻生田調整池)

被害対象を減少させるための対策



○立地適正化計画における「防災指針」の策定(豊橋市)

- ・ 災害ハザード情報と都市情報を重ね合わせ、都市の防災上の課題を抽出。
- ・ 抽出した課題を踏まえ、「回避」と「低減」を基本的に具体的な取り組み内容を検討。
- ・ 土地利用をはじめハード・ソフト対策を組み合わせ、都市の安全性を高め、「住民の命と暮らしを守る、安全・安心を兼ね備えたまち」を目指し、有識者の意見を踏まえ防災指針を策定。

【令和3年度実績】

都市計画審議会に中間報告(R4.2)

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

| 区分 | カテゴリ | No. | 内容 | 事業主体 | 実施する目標期間 | | R3 | 進捗状況 |
|--------------|------|-----|----------------|-----------|--------------------------|--------------------------|-----|------|
| | | | | | 第1期 (令和3年10月1日～2023年) | 第2期 (令和4年10月1日～2024年) | | |
| Ⅰ 特種建設(防災) | 河川 | 1 | 浸水開始水位等の設定 | 国土交通省 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| | | 2 | 治水計画・調整池等 | 国土交通省 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| | | 3 | 治水計画の配分やアブリによる | 国土交通省・豊橋市 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| | | 4 | 治水計画の配分やアブリによる | 豊橋市・豊川市 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| Ⅱ 特種建設(平常) | 河川 | 5 | 治水計画の配分やアブリによる | 豊橋市・豊川市 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| | | 6 | 治水計画の配分やアブリによる | 豊橋市・豊川市 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| | | 7 | 治水計画の配分やアブリによる | 豊橋市・豊川市 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| | | 8 | 治水計画の配分やアブリによる | 豊橋市・豊川市 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| Ⅲ 自治体共同による事業 | 河川 | 9 | 治水計画の配分やアブリによる | 豊橋市・豊川市 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| | | 10 | 治水計画の配分やアブリによる | 豊橋市・豊川市 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| | | 11 | 治水計画の配分やアブリによる | 豊橋市・豊川市 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| Ⅳ 小規模 | 河川 | 12 | 治水計画の配分やアブリによる | 豊橋市・豊川市 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |
| | | 13 | 治水計画の配分やアブリによる | 豊橋市・豊川市 | (済) | (済) | (済) | 実施済 |

○霞堤地区浸水被害軽減対策計画(愛知県、豊橋市、豊川市、豊橋河川事務所等)

- ・ 豊川霞堤地区における浸水被害の軽減を図るため、平成28年に対策計画を策定。
- ・ 霞地区内の浸水状況等の情報提供などのソフト対策や、浸水頻度・浸水面積・浸水時間を軽減することができるハード対策を実施。
- ・ 定期的に進捗管理を行い、効率的かつ効果的な浸水被害軽減を目指す。

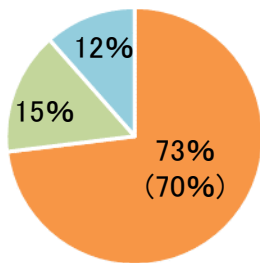
【令和3年度実績】

作業部会(R3.6)、地元説明会(R3.9)、協議会(R4.1)に実施。

豊川水系流域治水プロジェクト取組状況

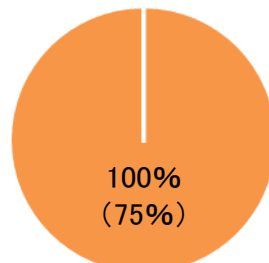
流域治水対策の取組状況アンケート結果（R5.1月時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



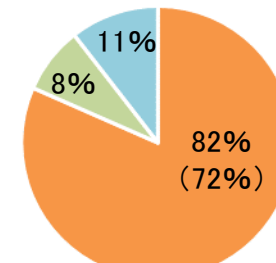
■ 1.着手済み ■ 2.検討中 ■ 3.未着手

被害対象を減少させるための対策



■ 1.着手済み ■ 2.検討中 ■ 3.未着手

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



■ 1.着手済み ■ 2.検討中 ■ 3.未着手

()内数字はR3年度時点

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 各機関の取組対象プロジェクトについて、73%が着手済み（26件中19件）、15%が検討中（26件中4件）。
- 豊橋市・豊川市では下水道雨水整備を順次実施中。
- 豊橋市・豊川市・新城市では河道の浚渫事業を実施、設楽町ではR6年度以降に豊川流域で浚渫事業を実施予定。

被害対象を減少させるための対策

- 各機関の取組対象プロジェクトについて100%が着手済み（4件中4件）。
- 豊橋市では令和3年度に作成した成果を基に、取り組みや目標値を検討し、「防災指針」の取りまとめを実施中。
- 豊川市では災害想定区域に家屋を所有して居住している市民に対し、都市機能誘導区域に転居する場合に補助金を交付。
- 新城市では令和5年4月公表予定に向け立地適正化計画を作成

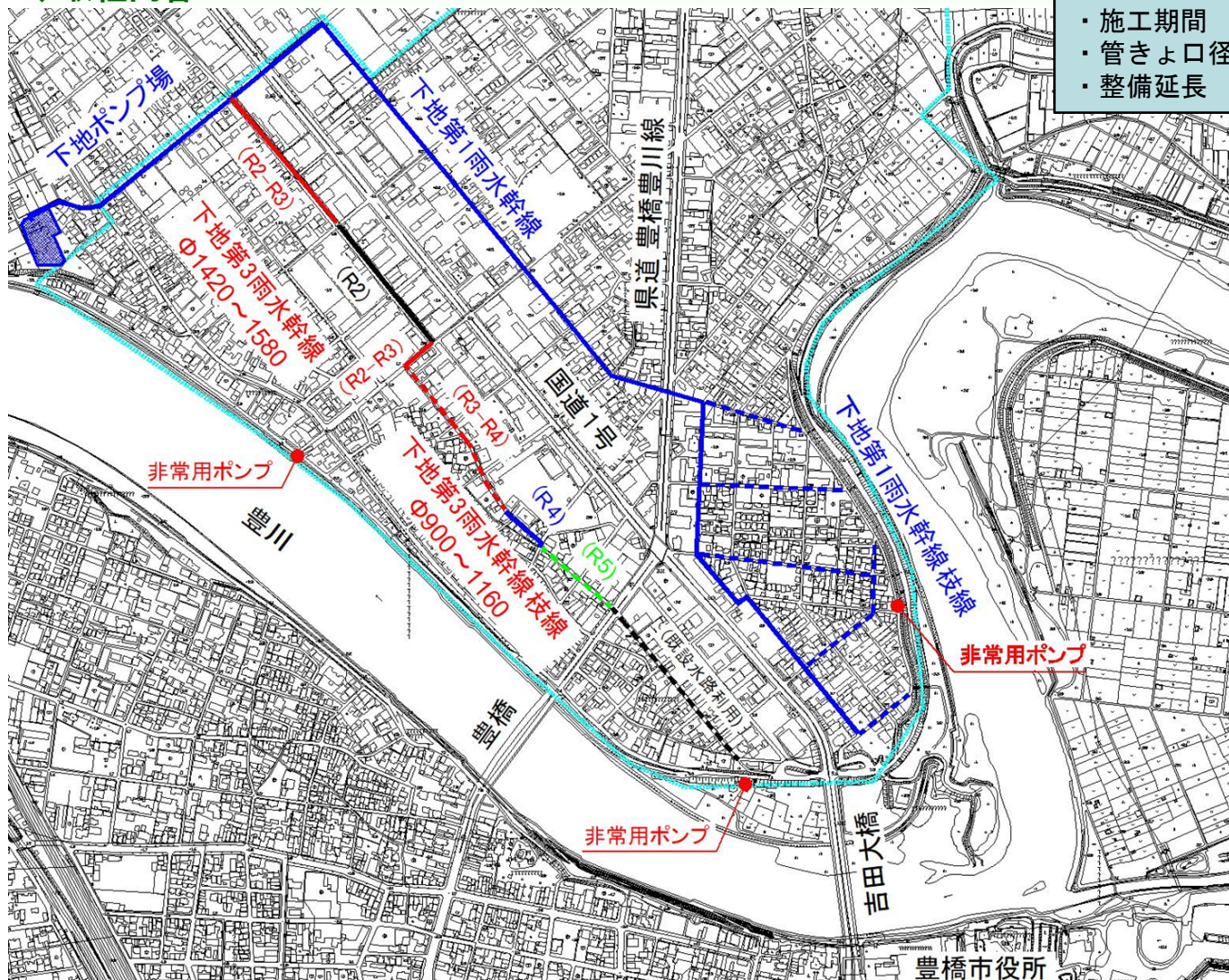
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 各機関の取組対象プロジェクトについて82%が着手済み（38件中31件）、8%が検討中（38件中3件）。
- 豊橋市・豊川市・愛知県・豊橋河川では「霞堤地区浸水被害軽減対策計画」に基づいた、ソフト・ハード対策を実施中。
- 豊川市では令和4度中に想定最大規模を反映した洪水ハザードマップを作成予定。

【豊橋市】流域治水対策の取組事例～下地排水区浸水対策(雨水管きよ整備)～

- 暮らしの基盤が整った、便利で快適なまちを目指し、下水道の整備を行っています。
- 下地排水区で雨水管きよの整備を行うことで、浸水被害の軽減に努めます。
- 令和2年度～5年度において、下地第3雨水幹線・枝線(口径900～1580mm、全長1.1km)の工事を行っています。
- また、下地第1雨水幹線の枝線(口径400～540mm)についても、下地排水区として一体的な整備を進めています。

◆取組内容



下地排水区浸水対策 (下地第3雨水幹線・枝線の整備)

- 施工期間 : 令和2年～令和5年
- 管きよ口径 : 900～1580mm
- 整備延長 : 1.1km



【豊川市】流域治水対策の取組事例～下水道雨水整備あそだ(麻生田調整池の新造)～

- 市としては、『安全・安心で「暮らしやすさ第一豊川市」を水害から守る流域治水対策』として、国、県、市が一体となって、“流域治水”を推進したいと考えています。
- その対策メニューのひとつが“雨水貯留施設の推進”です。貯留施設を用いて、流出抑制することで、洪水被害を軽減させることができます。
- この事業は、社会資本総合交付金を活用して、令和3年度～4年度において、豊川流域関連豊川市公共下水道事業計画に基づき、麻生田調整池の築造工事を行っています。

◆取組内容

麻生田調整池の築造工事を実施

| 調整池名称 | 降雨 | 調整池容量 (m^3) | 調整池カット量 (m^3/s) | 敷地面積 (m^2) |
|--------|------------------|--------------------|------------------------|-------------------|
| 麻生田調整池 | 5年確率 (50mm/時) | 2,800 | 2.11 | 4,300 |

◆取組効果

進捗状況は、下記のとおりです。

| | |
|----------|----|
| 排水ポンプ | 2台 |
| 排水ポンプ制御盤 | 1面 |
| 引込開閉器盤 | 1面 |
| 水位計 | 1組 |

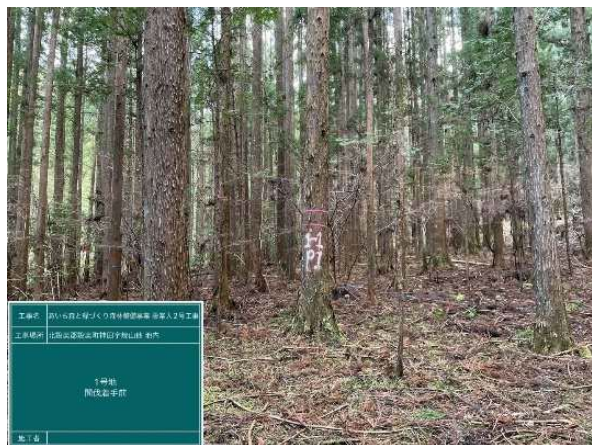


【設楽町】流域治水対策の取組事例～森林整備対策～

- 町では、森林の水源涵養機能の維持増大や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図ることにより、流域治水対策を推進したいと考えています。
- 健全な森林を育成するために森林の整備・保全等(造林、下刈り、間伐、作業道整備)を実施しています。
- 森林への関心や施業の大切さを学ぶため、小学生を対象とした林業体験学習を実施しています。

◆取組内容

間伐事業



着手前



完了

作業道整備



林業体験学習



◆取組効果

○森林整備・保全事業を実施することにより、森林の持つ保水能力の向上を図り流出抑制対策や、土砂災害対策となります。

○子供たちに森林への関心や施業の大切さを学んでもらい、将来の担い手となることを期待します。

◆進捗状況

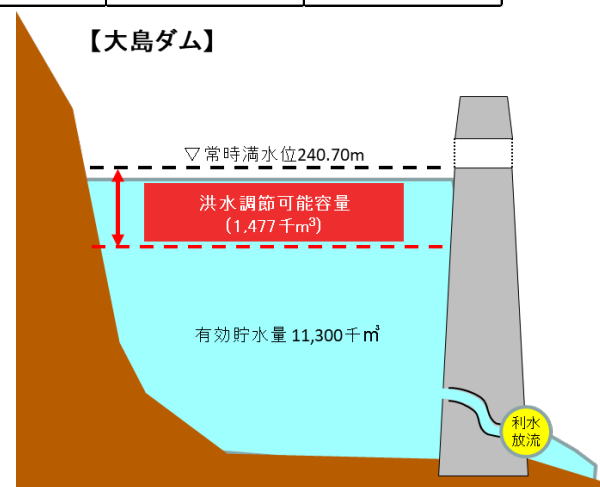
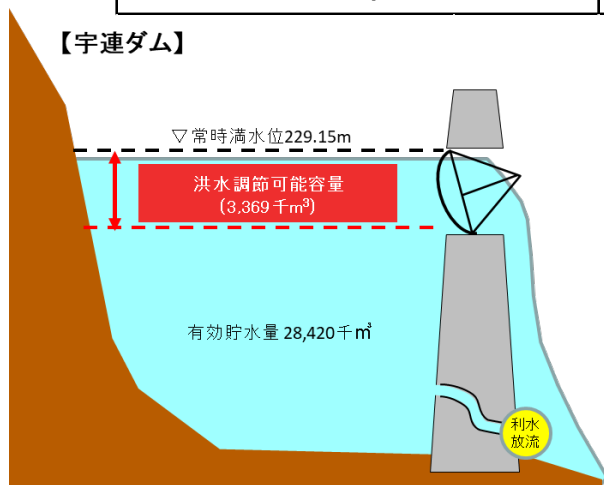
| | R2 | R3 | R4 |
|-------|----------|---------|---------|
| 造林 | — | 0.51ha | — |
| 下刈り | 1.04ha | 2.25ha | — |
| 間伐 | 116.00ha | 75.08ha | 42.95ha |
| 作業道整備 | 2,713m | 3,413m | 3,118m |
| 体験学習 | 9名 | 24名 | 33名 |

【水資源機構】流域治水対策の取組事例～事前放流等の実施、体制構築～

- 豊川水系内の全ての既存ダム(3ダム)を対象として、令和2年6月10日付けで治水協定を締結しました。
- 令和4年9月には、宇連ダム・大島ダムにおいて事前放流を実施しました。

【豊川水系治水協定における洪水調節可能容量】

| 項目 | | 宇連ダム | 大島ダム | 大野頭首工 | 計 |
|----------|--------------------|--------|--------|-------|--------|
| 有効貯水量 | (千m ³) | 28,420 | 11,300 | 910 | 40,630 |
| 洪水調節可能容量 | (千m ³) | 3,369 | 1,477 | 60 | 4,906 |
| 比率 | | 12% | 13% | 7% | 12% |



◆取組内容

| ダム名 | 事前放流実施日時 | 予測降雨量 (mm/24h) | 実績降雨量 (累計mm) | 空き容量 (千m ³) ① | 事前放流量 (千m ³) ② | 洪水調節 可能容量 (千m ³) ①+②=③ |
|------|------------------------------|-------------------|-----------------|---------------------------------|----------------------------------|---|
| 宇連ダム | 令和4年9月17日8時30分～ 17日14時30分 | 185.8 | 140 | 1,103 | 92 | 1,195 |
| 大島ダム | 令和4年9月16日13時～ 17日20時40分 | 194 | 105 | 0 | 615 | 615 |

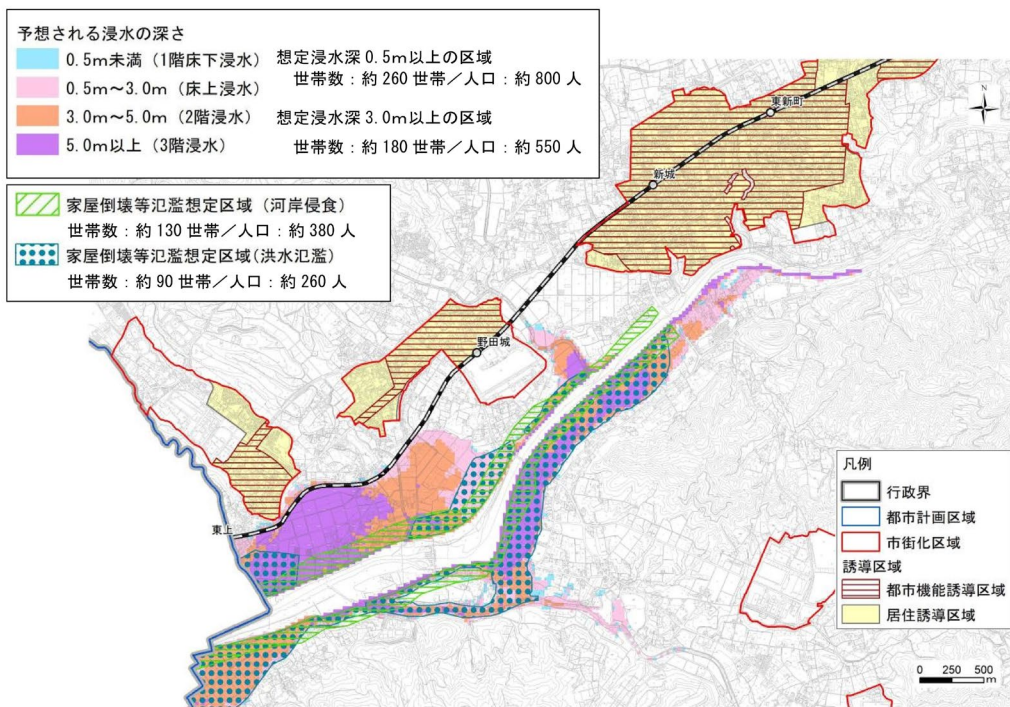
【新城市】流域治水対策の取組事例 ～立地適正化計画における「防災指針」の策定～

- 防災の観点を取り入れたまちづくりを加速化させるため、立地適正化計画において「防災指針」を策定しています。
- 防災指針では、災害の種類別に想定される被害を整理し、想定される被害を重ね合わせることで災害リスクの高いエリアを抽出します。
- また、防災まちづくりの将来像を掲げるとともに、防災・減災対策を定めることで、都市の総合的かつ計画的な災害対策を講じることができます。
- 令和3年度～4年度において策定作業を行っており、今後パブリックコメント等の意見を取りまとめ、令和5年4月に公表する予定です。

◆取組内容

◆災害リスクの分析の一例(水害に対する災害リスク)

家屋倒壊等氾濫想定区域(洪水氾濫・河岸侵食)においては、災害発生時における物的被害が深刻になる可能性がある。このため、市民の生命及び財産の保護の観点から、中長期的な視点で居住等の土地利用規制や防災集団移転等を検討する必要がある。



◆取組効果(あるいは進捗状況など)

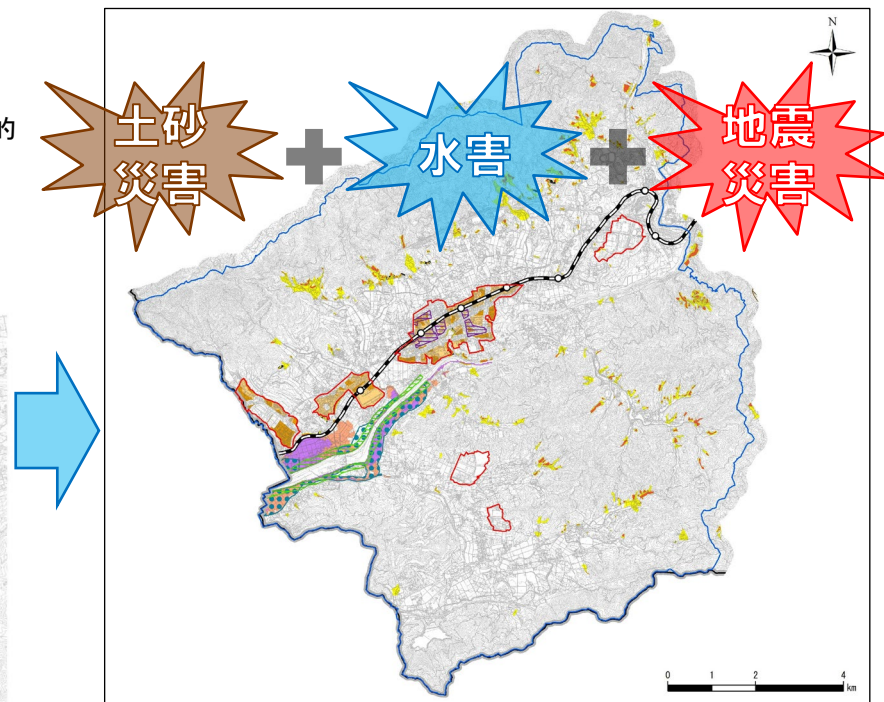


図: 防災指針に基づく防災・減災対策実施エリアの総括図

【設楽ダム工事事務所】流域治水対策の取組事例 ～設楽ダム建設～

- 令和4年度は、本体及び関連工事(基礎掘削、工事用道路)、付替道路工事等を実施しました。
- 令和4年8月に「設楽ダムの建設に関する基本計画」を変更しました。
- また令和5年2月25日には、ダム本体の工事を施工するため、豊川(寒狭川)本川の流れを転流エトンネルへ迂回させる「転流」を開始します。

◆設楽ダムの概要



豊川流域図
設楽ダムの諸元

| | |
|--------|----------------------|
| 形式 | 重力式コンクリートダム |
| 堤高 | 約129m |
| 流域面積 | 約62km ² |
| 湛水面積 | 約3km ² |
| 総貯水容量 | 9,800万m ³ |
| 洪水調節容量 | 1,900万m ³ |

総事業費：約3,200億円

工期：昭和53年度から令和16年度までの予定



本体工事(基礎掘削)

◆計画内容

<洪水調節>

設楽ダムの建設される地点における 計画高水流量毎秒1,490m³のうち、毎秒1,250m³の洪水調節を行います。

<流水の正常な機能の維持>

下流の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

<かんがい>

愛知県東三河地域の農地約17,200haに対するかんがい用水として、新たに毎秒0.339m³(年平均)の取水を可能にします。

<水道>

愛知県東三河地域の水道用水として、新たに毎秒0.179m³の取水を可能にします。

